

2021年6月22日

国立感染症研究所長
脇田 隆字殿

群星沖縄臨床研修センター長 徳田 安春
The Informed-Public Project 代表 河村 雅美

宮古島市新型コロナウイルス政策検証と提言について

日々の新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて、感謝申し上げます。

私たちは、新型コロナウイルス感染症対策の政策検証や政策提言を行ってきました。その立場から国立感染症研究所長にこの手紙を書いています。

この度、宮古毎日新聞の報道（「限定的実施で検討/全市民 PCR 検査」2021年3月25日）により、宮古島市の全市民検査実施計画が、準備段階の専門家の助言により、断念に至ったことを知りました。

私たちは、計画断念に至る過程、特に専門家（沖縄県立中部病院感染症内科、国立感染研究所）の助言が適切な科学的知見をもってなされたのかどうかを、宮古島市に情報開示請求をし、検証しました。その結果が『科学』（2021年7月号、岩波書店）に論文「『宮古島市におけるスクリーニング PCR の疫学的推定』に対する検証」として掲載されました。宮古島市長へ、報告と政策提言の手紙を別紙のとおり送付いたしましたので、国立感染症研究所にも共有いたします。

添付文書：

- 1) 論文「『宮古島市におけるスクリーニング PCR の疫学的推定』に対する検証」
『科学』（2021年7月号、岩波書店）。
- 2) 【解説】新型コロナウイルス感染源対策としての無症状者スクリーニング検査について
（ゼロコロナプロジェクト -Zero COVID Japan- による提言「COVID-19 無症状感染者の戦略的スクリーニングによる感染源の削減」～地域から感染源を減少させることにより人と人との間の接触を可能な限り維持しつつ感染者の増加を食い止めるための戦略～」ダイジェスト）
- 3) 情報開示文書該当部分

この件に関する連絡先:

- 論文内容について

群星沖縄臨床研修センター長 徳田 安春: yasuharu.tokuda@gmail.com

- 情報開示請求について

The Informed-Public Project 代表 河村 雅美: director@ipp.okinawa